

野村世界高格付債券投信 (年2回決算型)

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第23期(決算日2020年5月18日)

作成対象期間(2019年11月19日～2020年5月18日)

第23期末(2020年5月18日)	
基準価額	13,917円
純資産総額	150百万円
第23期	
騰落率	△5.1%
分配金(税込み)合計	10円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の信用力の高い債券に実質的に投資を行い、安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

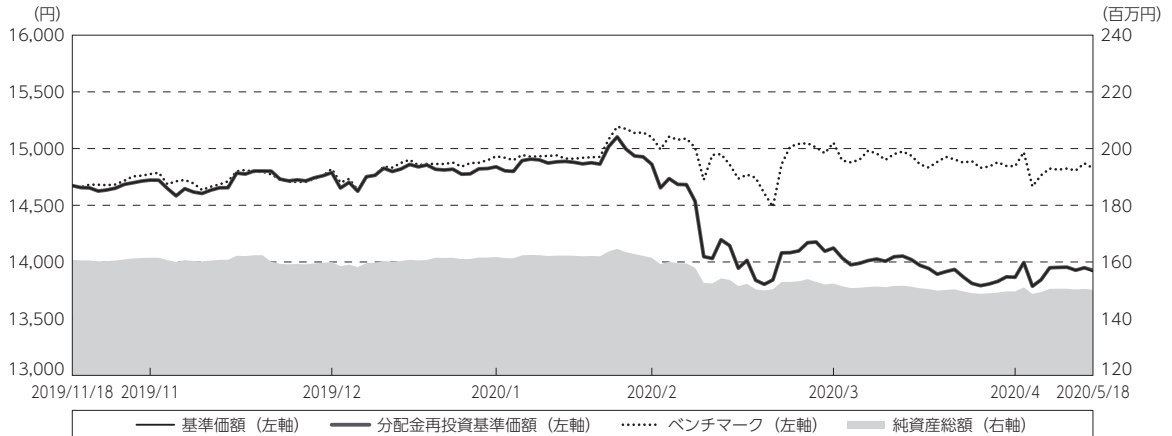


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年11月19日～2020年5月18日)



期首：14,673円

期末：13,917円 (既払分配金(税込み)：10円)

騰落率：△5.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)です。詳細は4ページをご参照ください。ベンチマークは、作成期首(2019年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,673円から期末には13,917円となりました。当期は、10円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は746円となりました。

- (上昇) 期を通じて、安定的に債券の利息収入を得られたこと。
 (下落) 為替市場における米ドルやユーロの円に対する下落(円高)。
 (下落) 欧州周縁国の債券利回りが上昇(価格は下落)したこと。

1万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年5月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 83	% 0.574	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(40)	(0.274)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(40)	(0.273)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(4)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(1)	(0.009)	
(c) その他費用	2	0.017	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	86	0.600	
期中の平均基準価額は、14,533円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

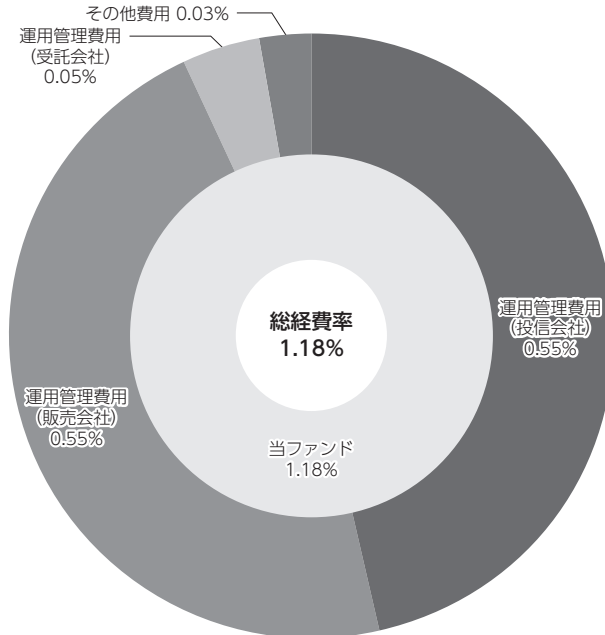
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.18%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

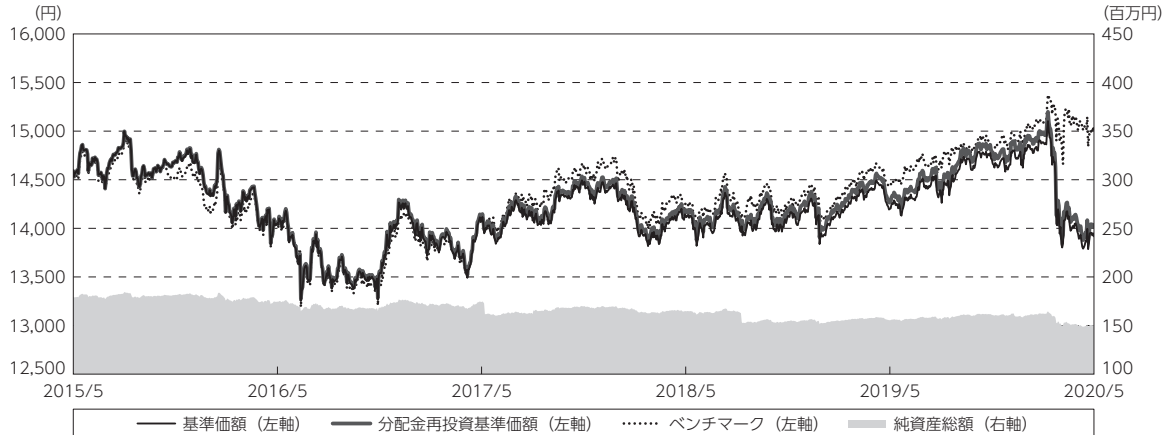
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年5月18日～2020年5月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2015年5月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)です。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、2015年5月18日の値が分配金再投資基準価額と同一となるように計算しております。

	2015年5月18日 決算日	2016年5月18日 決算日	2017年5月18日 決算日	2018年5月18日 決算日	2019年5月20日 決算日	2020年5月18日 決算日
基準価額 (円)	14,590	14,035	13,949	14,130	14,257	13,917
期間分配金合計(税込み) (円)	—	20	20	20	20	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.7	△ 0.5	1.4	1.0	△ 2.2
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 4.0	△ 0.0	1.8	1.6	3.5
純資産総額 (百万円)	179	174	172	164	156	150

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

* FTSE世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックス(為替ヘッジを行わない円ベースの指数)です。円換算には、原則として国内投資信託の基準価額算出に使用する為替レートを使用しています。

* FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(出所) FTSE Fixed Income LLC

投資環境

(2019年11月19日～2020年5月18日)

債券市場<債券利回りは米国・ドイツで低下、日本で上昇>

米国市場では、2020年2月までは米国経済は好調な労働市場や住宅市場を背景に底堅い成長を続けたものの、3月に入り新型コロナウイルスの感染が急速に拡大すると、同ウイルスの経済への打撃を緩和すべく、FRB(米連邦準備制度理事会)が政策金利を大幅に引き下げ、無制限での量的緩和を導入したことなどから、債券利回りは低下(価格は上昇)しました。

欧州では、新型コロナウイルス感染拡大によるユーロ圏域内経済への悪影響が警戒されたことで、ドイツ国債の利回りは低下しました。

日本では、市場のリスク回避姿勢が強まり世界的に保有資産を現金化する動きが強まった局面で日本国債にも売り圧力が強まったことなどから、日本国債利回りは上昇しました。

為替市場<米ドル、ユーロは円に対して下落>

市場のリスク回避姿勢が強まったことや、各国中銀が金融緩和策を打ち出す中で日銀による追加的な金融緩和余地の乏しさが市場の一部で意識されたことなどから、米ドルやユーロは円に対して下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年11月19日～2020年5月18日)

[野村世界高格付債券投信(年2回決算型)]

期を通じて、野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に維持しました。

[野村世界高格付債券投信マザーファンド]**<ファンド・デュレーション^(※1)>**

ファンド全体のデュレーションは期首から期末にかけて、長期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短期化としました。

(※1)デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

<為替のエクスポージャー^(※2)>

期末において、外貨エクスポージャーの内訳は、ベンチマークに比べ欧州通貨、日本円の比率を多め、米ドルの比率を少なめとしました。

(※2)為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産に、為替予約等を含めた実質的な通貨配分の純資産額に対する比率のことです。比率が高い通貨が上昇した際には為替差益が、下落した際には為替差損が発生しやすくなります。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年11月19日～2020年5月18日)

基準価額の騰落率*は-5.1%となり、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)の+1.1%を6.2ポイント下回りました。

*基準価額の騰落率は、分配金(税込み)込みで算出しております。

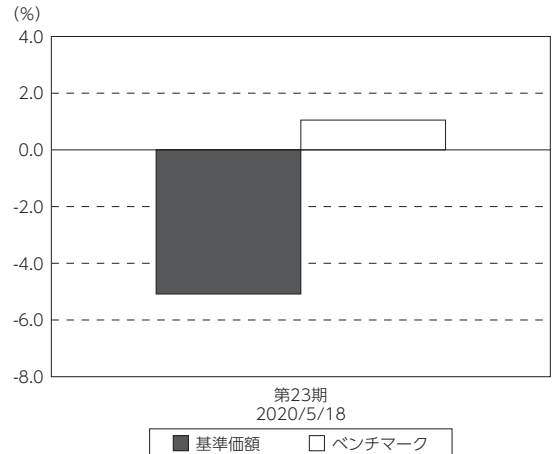
(主なプラス要因)

下落した英ポンドの比率をベンチマークに比べ少なめとしていたこと。

(主なマイナス要因)

グローバルに債券利回りが低下する局面で、ファンド全体のデュレーションをベンチマークに対して短期化していたこと。

基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)です。

分配金

(2019年11月19日～2020年5月18日)

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1万円当たり10円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり・税込み)

項目	第23期
	2019年11月19日～2020年5月18日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.072%
当期の収益	10
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	5,487

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[野村世界高格付債券投信(年2回決算型)]

主要投資対象である野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

[野村世界高格付債券投信マザーファンド]

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等(国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等)に投資を行ないます。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国について、新型コロナウイルス感染拡大の経済への悪影響は懸念されるものの、大規模な財政政策や緩和的な金融政策によって経済が持ち直しに向かうことで、債券利回りは上昇圧力がかけやすいと予想します。欧州では、ユーロ圏各国の財政政策に対する期待の高まりなどを背景に、これまで低位で推移していた債券利回りには上昇圧力がかけやすいと予想します。日本では、今後も金融緩和的な日銀の金融政策が債券相場を下支えすると見込んでおり、債券利回りは低水準で推移すると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は短期化とし、地域別では米国と欧州を短めとします。為替エクスポージャーは、欧州通貨や日本円の比率を引き上げ、米ドルの比率を引き下げる方針です。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

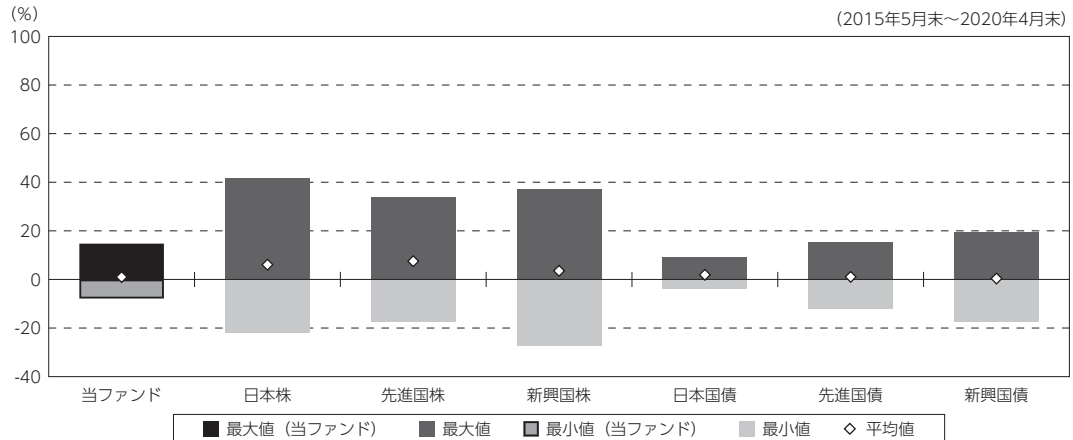
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2008年12月19日以降、無期限とします。	
運用方針	野村世界高格付債券投信マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界各国の信用力の高い債券に投資し、安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	野村世界高格付債券投信（年2回決算型）	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、債券に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国の信用力の高い債券を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の信用力の高い債券に実質的に投資を行い、安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	14.7	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 7.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	1.0	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年5月から2020年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

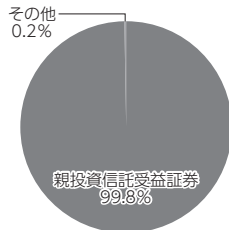
組入資産の内容

(2020年5月18日現在)

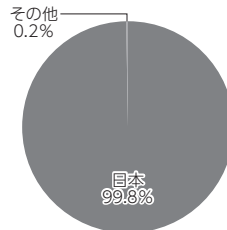
○組入上位ファンド

銘柄名	第23期末
野村世界高格付債券投信マザーファンド	99.8%
組入銘柄数	1銘柄

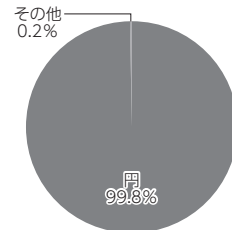
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第23期末
	2020年5月18日
純資産総額	150,169,541円
受益権総口数	107,901,126口
1万口当たり基準価額	13,917円

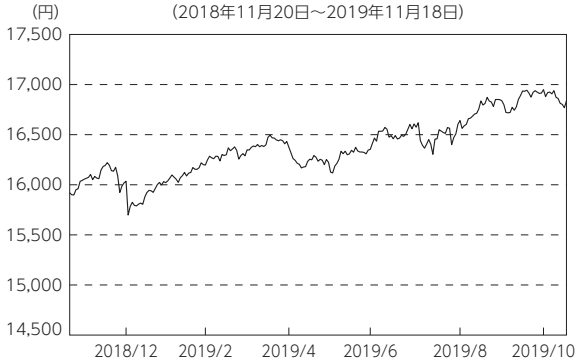
(注) 期中における追加設定元本額は981,831円、同解約元本額は2,634,116円です。

組入上位ファンドの概要

野村世界高格付債券投信マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年11月20日~2019年11月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	2 (2)	0.014 (0.014)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	8 (7) (0)	0.048 (0.044) (0.004)
合計	10	0.062

期中の平均基準価額は、16,386円です。

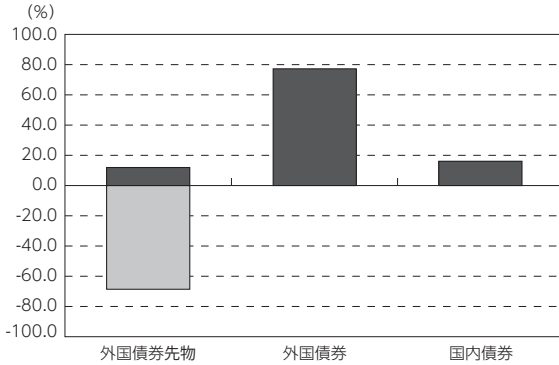
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

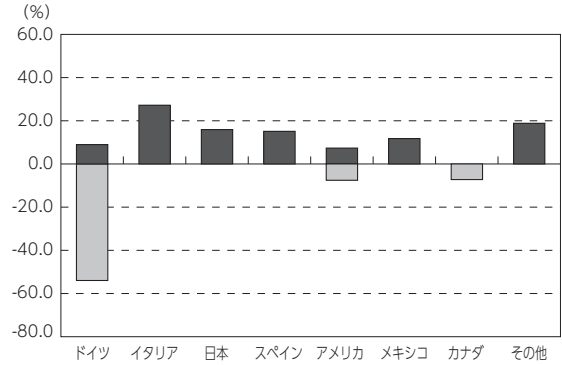
(2019年11月18日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	BOBL 1912	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	25.3%
2	SCHATZ 1912	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	19.0
3	BUNDS 1912	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	9.7
4	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO 5.15% 2028/10/31	国債	ユーロ	スペイン	9.4
5	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.5% 2046/8/15	国債	ユーロ	ドイツ	7.4
6	2Y-TNOTE1912	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	7.3
7	CANADA 1912	債券先物(売建)	カナダドル	カナダ	7.3
8	BUONI POLIENNALI DEL TES 3.75% 2021/5/1	国債	ユーロ	イタリア	6.6
9	MEX BONOS DESARR FIX RT 7.75% 2031/5/29	国債	メキシコペソ	メキシコ	6.1
10	国庫債券 利付(20年)第125回	国債	円	日本	5.1
組入銘柄数			41銘柄		

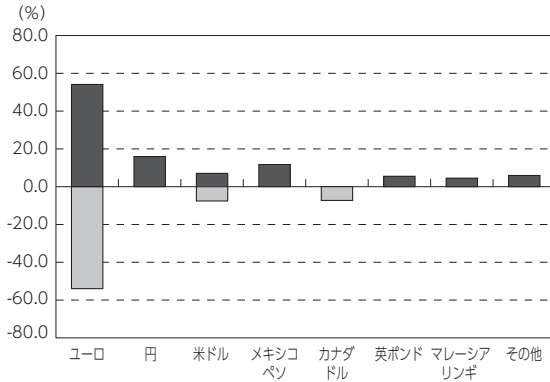
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)